腸内細菌検査（検便）のご案内

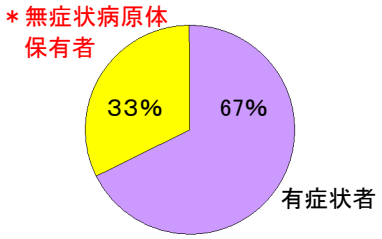
腸管出血性大腸菌（EHEC）の選択がベスト!!

O157だけじゃない

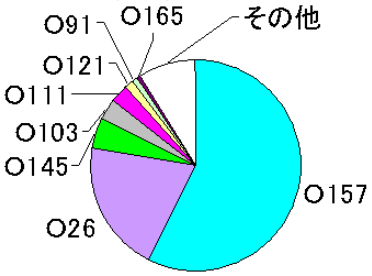
食中毒の原因菌であるベロ毒素を検出することが重要です。

O１５７のみの検査では、その他の原因菌を見逃します。

症状別報告数（3940人）



血清型割合（3940人）



腸管出血性大腸菌は
O血清型で１８０　種類
強い感染力（50～100個程度で発症の可能性）

国立感染症研究所2011年EHEC報告症例3940例より

検査の種類

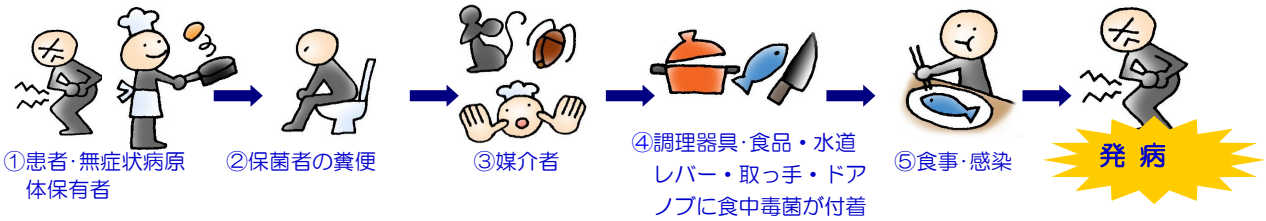
①腸管出血性大腸菌（EHEC）

→ベロ毒素を検出。血清型・毒素型も分かります。

②赤痢菌・サルモネラ（チフス菌・パラチフスA菌を含む）

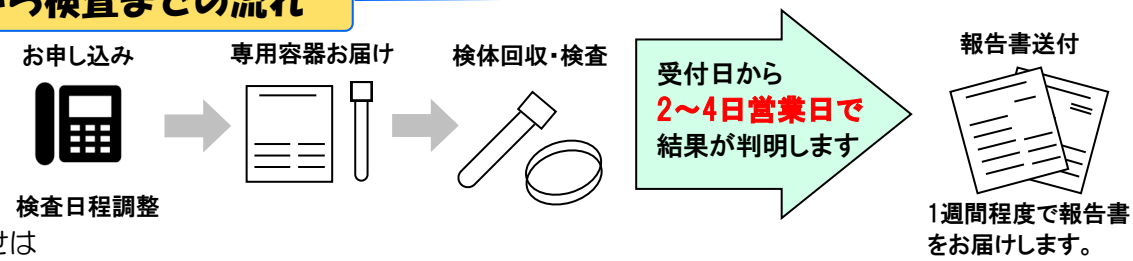
検査の必要性

原因菌を持っていますが、下痢や嘔吐などの症状がない「＊無症状病原体保有者」をいち早く見つけ出すためには、**定期的な腸内細菌検査（検便）を行う必要があり**



「大量調理施設衛生管理マニュアル」では腸管出血性大腸菌を含む検便は月に1回以上
「学校給食法」では月に2回以上の検便が規定されています。

ご依頼から検査までの流れ



お問い合わせは

一般財団法人 石川県予防医学協会
環境検査部 http://www.yobouigaku.jp/
〒920-0365　金沢市神野町東１１５番地
TEL（076）269-2344

ISO　17025 認定試験所
ISO　　9001 認証取得
ISO　27001 認証取得
厚生労働大臣登録 食品検査機関
厚生労働大臣登録 水質検査機関
水道ＧＬＰ認定機関

CE業-01014-3